

## 4. 2018年に新たに発生を認めた病害虫

2018年に道内で新たに発生を認めた病害虫は、12（病害9、害虫3）でした。その一部を抜粋して紹介します。テンサイ黄化病（旧病害名：テンサイ西部萎黄病）を除くと、いずれも十勝管内では発生未確認の病害虫です。

### 1) たまねぎの黒腐菌核病（新発生）

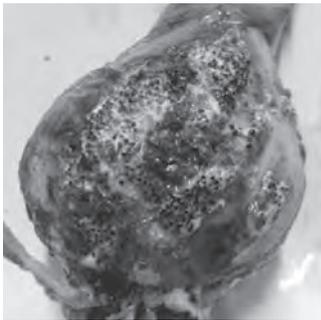
たまねぎの鱗茎に0.5mm程度の菌核が形成される病害で、生育不良や立ち枯れ症状を引き起こします。

### 2) ねぎの根腐病（新発生）

ねぎの根に軟化や腐敗を引き起こす病害で、生育遅延を引き起こします。

### 3) にんじんの葉腐病（新症・国内新発生）

にんじんに葉腐れを引き起こす病害で、発病初期には葉柄と葉身が褐変し、進展すると地上部全体が枯死します。



たまねぎの黒腐菌核病  
(池谷原図)



ねぎの根腐病  
(三澤原図)



にんじんの葉腐病  
(森原図)

### 4) 小麦のなまぐさ黒穂病（病原の追加）

近年、十勝を除く道内で広く発生しているなまぐさ黒穂病菌を同定した結果、小麦ではこれまで報告のなかった *Tilletia controversa* であることがわかりました。本菌は土壌伝染することが確認されています。

### 5) てんさいの黄化病（病名の変更・病原の変更）

近年、道内で発生していたテンサイ西部萎黄病の病原ウイルスについてホクレン農総研が詳細を調べた結果、従来報告されていたウイルスとは異なるものであることがわかりました。このため、これまでテンサイ西部萎黄病とされていた病害の名称は「テンサイ黄化病」、病原ウイルス名は「Beet leaf yellowing virus（ビート黄葉ウイルス）」と変更されました。

【補足】「特に注意を要する病害虫」および「新発生病害虫」の詳細な情報については、北海道病害虫防除所のホームページに掲載していますので、そちらもご覧ください。

(成績名：平成30年度の発生にかんがみ注意すべき病害虫)

もう少し詳しい情報はこちら  
(スマホでの閲覧はお勧めしません)

検索は、「北海道病害虫防除所、道総研」で



本技術内容についての問い合わせ先  
道総研十勝農業試験場  
電話 (0155) 62-2431  
E-mail: tokachi-agri@hro.or.jp